News Release

2026 年 11 月 13 日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会

【日本発・異業種共創によるグローバルへの挑戦】
日本能率協会、CES 2027 にて「Japanese Longevity（Life-Wellness)」を掲げ参画 9 社とともに共同出展構想を発表
～ ヒューマンセントリック × AI ～
技術（シーズ）の単体提示から、生活シーンにおける「ニーズ志向」へ。
健康長寿大国・日本の知見を結集し、
個社では解決できない課題に挑むプロジェクトが始動。

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己、東京都港区芝公園）は、2027 年 1 月 6 日（水）～9 日（土）に米国ラスベガスで開催される世界最大級のテクノロジー見本市「CES 2027」において、日本を代表する企業アライアンスとともに、「Japanese Longevity (Life-Wellness) ～ヒューマンセントリック × AI～」を統一テーマとした共同展示ブースを出展する構想を取りまとめましたので、お知らせいたします。 本取り組みは、評議員会での議論を起点に、「日本産業が世界において新たな未来像を提示するための挑戦」として始動した 3 年越しのプロジェクトの第一歩（初年度）です。米中メガテック企業が主導する画面上の AI や効率偏重のテクノロジーが席巻する中、一社単独の技術（シーズ志向）では解決できない複雑な社会課題に対し、JMA が提唱するコンセプトアンブレラのもとに異業種 9 社が集結。生活者のリアルな暮らしや働く場面（ニーズ志向）に寄り添い、人間中心（ヒューマンセントリック）の持続可能な未来像を共に創り上げていく試みとなります。

【JMA ブース 統一テーマ】
Japanese Longevity (Life-Wellness) ～ ヒューマンセントリック × AI ～
―「精密な慈しみ」が、働く喜びと人間の成長を 100 年人生の中に調和させる ―

■ 単なる「長寿（Longevity)」にとどまらない、9 社共創アライアンスの意義
世界的に「Longevity（長寿・ウェルビーイング)」への関心が高まる中、欧米主導の提案の多くはデータ管理や病気になってからの診断・治療（対症療法）に偏りがちです。これに対し、健康寿命世界トップクラスを誇る日本が提示すべきは、単なる延命や管理ではなく、暮らしや働く所作の中に未病・予防・回復を自然に溶け込ませる「Japanese Longevity（Life-Wellness)」のあり方です。
日本には、朝の洗顔・肌チェックからオフィスでの高い生産性、移動、夜の深い睡眠、そして高度なケアまで、人間の暮らしと労働を支える層の厚い精密技術が存在します。本プロジェクトでは、各社の優れたアセットを単に並べるのではなく、一人の人間の「100 年人生の旅路（生活シーンでのニーズ志向)」に沿って統合。
AI や高度センシングが主役となって人間を監視するのではなく「黒衣（Kuroko)」として静

かに寄り添い、人間が主体性を持って「生涯現役で学び、働き、社会に貢献し続ける（人間の成長）」という日本流モデルを、企業連携の総合力（線・面）で世界へ提示します。これこそが、個社の枠を超えて志を同じくする 9 社が共創する最大の意義です。

■ 参加企業・アセット概要（9 社） 本プロジェクトは、JMA のディレクションのもと、以下の 9 社が技術・ノウハウを持ち寄り、一つの統一テーマに向けて議論と共創を深めています。展示体験の詳細や統合ストーリーについては、本年 12 月中旬の第 2 弾発表にて順次公表してまいります。

- NTT インテグレーション株式会社 （肌状態×ライフスタイルデータの統合分析で、自分に合った肌コンディション管理を提案する美容アプリ「RINZME」）
- 積水化学工業株式会社 （6 軸力覚センサー「ショッカクチップ」・見守りセンサー「ANSIEL」）
- ソフトバンク株式会社 （法人向け AI エージェントプラットフォームサービス「AGENTIC STAR」）
- ダイキン工業株式会社 （超効率高/低酸素空間「OXORA」）
- 大日本印刷株式会社（DNP） （高機能医薬品パッケージ・医療用カラーマネジメント・MPS（生体模倣システム）・医薬品製造拠点）
- 日本製鉄株式会社 （AI 健康エンジン：重要因子同定法×助言 AI）
- パナソニック ホールディングス株式会社 技術部門 (人と共生するフィジカル AI の社会実装：ヒューマノイドロボット用高信頼性デバイス)
- ロート製薬株式会社 ／王子ネピア株式会社（協働プロジェクト：OAB 過活動膀胱 ウェアラブル医療機器および生活サポート）

■ 今後の発表スケジュールおよび特設サイトのご案内

本プロジェクトは一回限りのイベントではなく、3 年越しのビジョンに向けた継続的な挑戦の第一歩（初年度）として位置づけています。メディアの皆様およびグローバルステークホルダーに向け、以下の 2 段階にて情報を発信してまいります。

- 2026 年 11 月 13 日（金）：第 1 弾共同出展構想・参画 9 社・統一テーマの発表（国内向け発表）
- 2026 年 12 月中旬予定：第 2 弾ブースパース図・詳細体験ストーリー・現地取材ガイドの公表（グローバル一斉配信）
- 2027 年 1 月 6 日（水）～9 日（金）： CES 2027（米国ラスベガス）本番出展

＊出展場所：Venetian Expo　HallA　　2 階　ブース番号：50017

【JMA 特設ウェブサイトのご案内】

本プロジェクトの最新情報、各社の挑戦ストーリー、および今後公開されるコンセプト動画につきましては、下記 JMA 特設ウェブサイトにて順次発信してまいります。

URL： https://www.jma.or.jp/ces2027/

【本件（プロジェクト内容）に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター

担当：河野、川口、岡田

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

E-mail：ces@jma.or.jp